

学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

令和2年度

教務部

<p>1 集計結果の分析・考察</p> <p>○昨年度と同様全ての項目で◎であった。</p> <p>○全員がA・Bと評価したのは、2項目であった。</p> <p>○2・3・11はAが過半数を超える高評価であった。各校務分掌の担当者が昨年度の反省を活かし、改善・改良に努めた結果だと思う。</p> <p>○AよりB以下の評価が高く（5人以上）なったのは、以下の項目である。</p> <ul style="list-style-type: none">1 「教育課程の編成」4 「研究授業の推進」5 「総合的な学習・探究の時間の計画・実践」6 「学校行事の創意工夫」7 「PTA活動の協力体制」8 「中学校・地域・関係機関との連携」9 「職務の効率化」10 「校内研修」 <p>特に、4についてはCの評価が5人と多い。Dの評価も6と9にあった。</p>
<p>2 改善策及び今後の在り方・方向性等</p> <p>○「職務の効率化」については、各分掌の引き継ぎをしっかりと、それぞれが、業務内容を把握する必要がある。引き継ぎがしっかり出来るよう、各個人が校内ラン上のファイルの整理、文書の整理に務め、また、各分掌のマニュアルを作成する必要がある。</p> <p>○「PTA活動の協力体制」「中学校・地域・関係機関との連携」については、今年度はコロナウイルス感染症対策を行わなければならないやむを得ない。来年度はこのようなことを踏まえての連携方法の検討が必要である。</p> <p>全体的に高い評価ではあるが、より円滑な学校運営ができるよういろいろなアドバイス等をいただきたいと考える。</p> <p>活力ある学校作りを進めるとともに、保護者や地域・中学校や関係機関との連携を密にし、募集定員の確保につなげたい。保護者や地域との互恵関係が築ければ、部活動や学習面でも指宿高校にとってプラスに効果が働くと思われる。</p>